

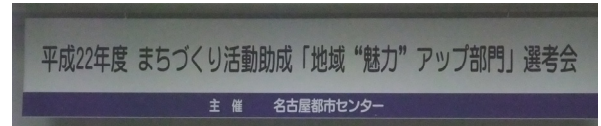
# 平成22年度「地域“魅力”アップ部門」選考会の様子

■日時 平成22年6月26日(土)10時～16時30分  
■会場 名古屋都市センター・ホール(金山南ビル11階)



## 9:30 受付開始

発表団体関係者49名、一般参加者15名の参加がありました。今年は、申請団体が18団体と例年以上の申請がありました。応募団体の皆さんには9時半に集合していただきました。事務局からプレゼンテーションの進め方の説明があり、各団体ともスタンバイOKです。今回が初めてのプレゼンという団体もあり、少し緊張気味でした。



受付



プレゼンテーションの説明

## 10:00 開会

名古屋都市センターまちづくり相談幹の司会で、選考会が開会しました。はじめに、名古屋都市センター事業部長からあいさつがありました。



名古屋都市センターまちづくり相談幹



名古屋都市センター事業部長あいさつ

本日は、「地域“魅力”アップ部門」の応募のありました18団体につきまして公開審査による選考を行います。また、「はじめの一步」部門の応募のありました12団体につきまして、事前に書類での審査をおこないました結果を公表します。選考会を盛り上げていただきたいと、お願いをしまして私の挨拶とさせていただきます。

## まちづくり基金運用委員会の委員(7名)を紹介

選考会に当たっては、事前に申請書を熟読の上、臨みました。



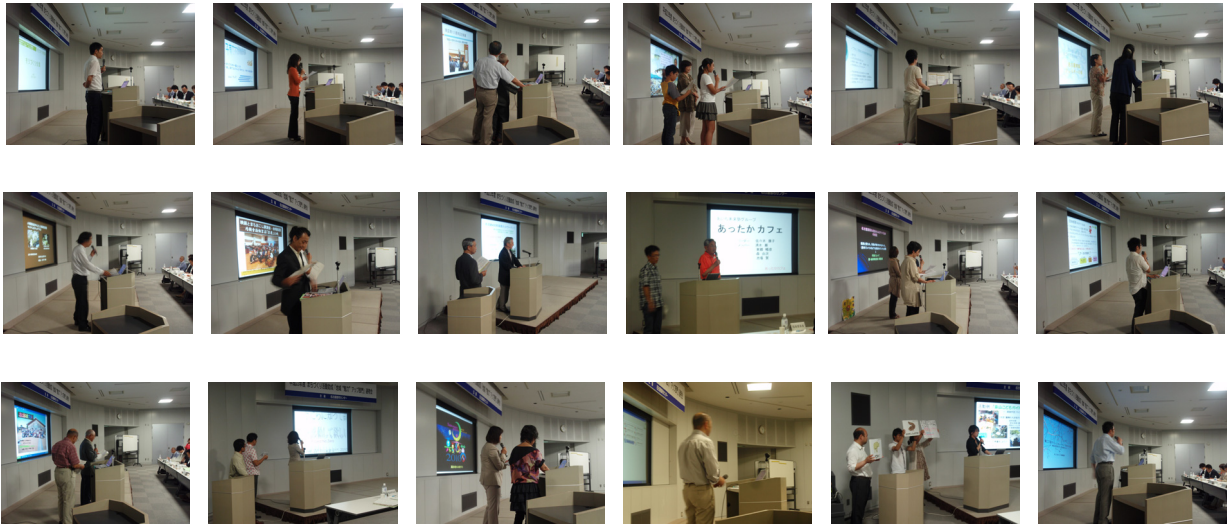
## 10:05 応募団体による発表・質疑応答

各団体5分の持ち時間で、申請書の提案内容について、発表していただいた後、まちづくり基金運用委員との質疑応答を行いました。

タイムキーパーは、発表に際しては時間表示をして、公平な発表を心がけました。来場者にも提案内容をできるかぎり公表し、会場で資料を配布しました。

### 【会場で配布した資料】

- 当日のプログラム、選考方法説明資料
  - 各団体からの提案内容(申請者名、住所、事業費等除く)
- ※会場では、チラシ等の配布は禁止です。



プレゼンテーションする申請者(18団体)



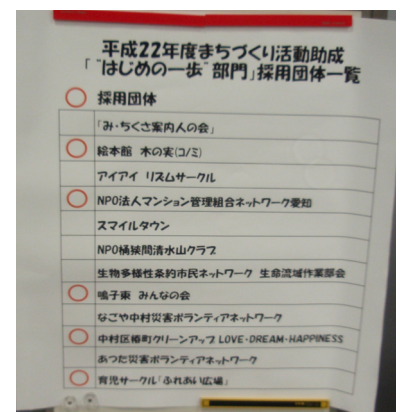
プレゼンを受けて、質疑をする基金運用委員

### 13:00 「“はじめての一步”部門」採用団体の発表

事務局が「選考会の進め方」に沿って説明した後、まちづくり基金運用委員会の福島委員長より、事前に書類選考で助成を決定した「“はじめての一步”部門」採用団体（5団体）の発表を行いました。



採用された団体の皆様、おめでとうございます。この助成金を活用し、皆さんの活動を“一步”前進させてください。



“はじめての一步”部門 採用団体一覧

### 13:20 休憩、委員による1次投票

1次投票は、最終的な選考ではなく、最終的な質疑を行うための参考資料とするために行いました。その上で、各団体からの提案を3段階で評価をしていただきました。



投票結果を集計する事務局



## 14:30 1次投票の結果公表、質疑

休憩終了後、1次投票結果を公表！

この表を見ながら、各委員が質問をしていきました。

基金運用委員から次々に質問が出されます。

応募団体の皆さんも熱い思いを語ります。

No.	団体名称	8点~10点	3点~7点	0点~2点	No.	団体名称	8点~10点	3点~7点	0点~2点
1	もりづくり会議	3	4	0	10	あい巧未来塾あったかカフェグループ	0	6	1
2	moms.(ママズ)	6	1	0	11	名古屋技術の社をみんなでつくる会	2	5	0
3	南翠遊会	0	6	1	12	NGOアーツ(アース)	1	6	0
4	山崎川グリーンマップ	4	3	0	13	青年大学憲法・緑友会	0	7	0
5	地域福祉推進(Cat paw ぬいねこがぶら)	1	6	0	14	中川運河キャナルアート実行委員会	2	5	0
6	名古屋南部アルプシーの会	4	3	0	15	テアトロ・マジコ	1	5	1
7	愛知守山自然の会	0	7	0	16	特定非営利活動法人健康支援びびび協会	0	7	0
8	名古屋活動写真(母体: 巴福寺活動写真)	2	5	0	17	東山動物園くらぶ	1	5	1
9	清後橋400年事業ネットワーク	4	3	0	18	鈴二丁目まちづくり連絡協議会	3	4	0



## 15:30 休憩、各委員による投票

再質疑を終えると、いよいよ皆さんの前で投票です。

各委員には、各団体の提案を、「選考にあたって重視する点」①~⑤の5項目すべてについて「2点」「1点」「0点」の3段階で評価をしていただきました。

＜選考にあたって重視する点は以下のとおり＞

.....提案内容の妥当性.....

### ①必要性

- ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か
- ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か
- ・地域との連携や協力が得られる活動か
- ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か

### ②独創性

- ・創意工夫にあふれた活動か
- ・それぞれの地域性にあわせた個性豊かな活動か
- ・新しい視点やアイデアはあるか

### ③実現性

- ・提案内容が具体的になっているか
- ・予算は妥当か

### ④発展性

- ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
- ・助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか

.....提案団体の能力.....

### ⑤活動実績と主体性

- ・提案内容につながる活動実績を有しているか
- ・具体的にどんな熱意を注いでいるか

集計は、「選考にあたって重視する点」5項目の評価を点数化（2点、1点、0点）して委員の平均点を算出しました。

例えば、以下の〇〇〇団体の例では、委員7人の平均点は、8.0点となります。

<〇〇〇団体の計算例>

- ①必要性 「2点」4票 「1点」2票 「0点」1票
  - ②独創性 「2点」5票 「1点」1票 「0点」1票
  - ③実現性 「2点」6票 「1点」1票 「0点」0票
  - ④発展性 「2点」4票 「1点」3票 「0点」0票
  - ⑤活動実績と主体性 「2点」5票 「1点」1票 「0点」1票
- (「2点」×24票 + 「1点」×8票 + 「0点」×3票) ÷ 7人 = 8.0点

## 16:10 投票の結果公表、採用団体の発表

副委員長が助成団体を発表！

原則、各委員採点の平均点が8.0点（満10点の8割獲得）以上の団体を採用すると選考方法で発表していましたが、採点の結果今年度は8点以上を獲得した団体はありませんでした。そこで、予算の範囲内で、上位6団体を採用しました。

最後に、委員長から講評がありました。



団体名	必要点	採点結果					採点平均	採用														
		必要性	独創性	実現性	発展性	活動実績と主体性																
〇〇〇〇〇〇	7.71	15	7	3	4	0	24	3	3	1	4	30	500,000	採用								
〇〇〇〇〇〇	7.71	19	6	0	7	0	25	0	4	3	0	4	30	500,000	採用							
〇〇〇〇〇〇	5.00	7	1	7	0	5	2	0	6	1	1	5	1	0	4	3	10	500,000	採用			
〇〇〇〇〇〇	7.86	20	15	0	3	4	0	3	4	0	4	3	0	3	4	0	7	0	500,000	採用		
〇〇〇〇〇〇	6.86	18	18	2	5	2	0	3	5	0	1	6	0	0	5	2	7	0	500,000	採用		
〇〇〇〇〇〇	7.57	15	17	0	6	1	0	3	4	0	4	3	0	1	6	0	4	3	0	500,000	採用	
〇〇〇〇〇〇	7.00	14	21	0	3	4	0	3	4	0	3	4	0	0	5	2	7	0	500,000	採用		
〇〇〇〇〇〇	7.57	18	17	0	4	3	0	3	5	0	6	1	0	0	7	0	6	1	0	500,000	採用	
〇〇〇〇〇〇	5.14	6	24	5	1	6	0	1	5	1	2	4	1	1	5	1	4	2	4	0	500,000	採用
〇〇〇〇〇〇	6.86	16	16	3	1	5	1	2	4	1	1	5	1	1	4	2	4	0	500,000	採用		
〇〇〇〇〇〇	6.71	12	23	0	1	6	0	3	5	0	1	3	1	3	4	0	5	2	0	500,000	採用	
〇〇〇〇〇〇	6.00	10	22	3	0	6	1	0	5	1	2	3	0	6	1	0	7	0	500,000	採用		
〇〇〇〇〇〇	7.27	17	17	1	3	4	0	7	0	0	3	3	1	1	6	0	3	4	0	488,000	採用	
〇〇〇〇〇〇	5.86	11	17	7	0	5	2	4	2	1	4	2	1	0	4	3	4	0	500,000	採用		
〇〇〇〇〇〇	5.71	7	26	2	5	0	7	0	5	2	1	6	0	4	3	0	4	0	400,000	採用		
〇〇〇〇〇〇	6.00	10	22	3	0	6	1	2	4	1	3	4	0	1	5	1	4	3	0	500,000	採用	
〇〇〇〇〇〇	7.27	17	17	1	4	3	0	1	6	0	4	2	1	3	4	0	5	2	0	500,000	採用	



採択団体へは花がつけられ祝福されました

講評する福島委員長

### 【選考会の講評】

今年度は18団体の応募があり、これまでに比べるとたくさんの方から応募をいただき、基金運用委員会として嬉しく思っています。今回の応募では、環境、歴史、文化、健康、子育て、きずな作り、動物愛護など、様々な分野から提案いただきました。採点にあたって、私たち委員が重視したことは、提案活動が「地域の魅力アップ」にいかにつなげていくか、まちづくりへの展開や展望の可能性があるか、といった点です。今回の選考会では、こうした点に加え、助成金の使途の妥当性や必要性も議論いたしました。活動内容は高く評価されながらも、支出の項目（予算執行の項目）から、本当にこの助成金が必要なのか、活動そのものに助成金を使ってもらえればという点で評価を落とした団体もあります。結果的に、先に西澤副委員長から発表があった6団体の提案活動を採択することになりました。

皆さんの活動展開をみていますと、「“はじめの一步”部門」の採用団体が、「地域“魅力”アップ部門」に応募し、発展してきた団体や、まちづくり交流会、あいち未来塾などから活動を発展させてきた団体など、それぞれの団体で活動の展開や成長が見ることができて嬉しく思いました。

一方、「地域“魅力”アップ部門」が3回までの助成が認めている中で、継続して助成が認められた団体もありますし、昨年度は採択されましたが、今年度は残念ながら不採択となった団体もあります。団体が助成を受けて2年、3年と活動を継続してきた時に、どのように発展してきているか、自立的に活動を展開しているかという

点で、審査のハードルも上がってきます。助成金を受けた活動の成果をもとに、地域からの支援、企業等からの支援を取り付け、活動を自立的に展開されているかということも審査ポイントになっています。活動内容の立派さから連続して助成を認めていくと、助成金があるという前提で活動をしてしまいます。今回、継続採択ができなかった団体においては、ピンチをチャンスに変えるという逆転の発想を持って、少ない予算の中で何ができるのか、その中で自立的に活動を展開していくためには、何が必要かということを考えていただけることを期待しています。活動の仕組みをさらに発展させ、来年もまちづくり活動助成に応募いただければと思います。

不採択になった提案も含めて、応募いただいた全ての提案活動のそれぞれに意義があります。今回の採点結果はあくまでこの助成制度の趣旨に即して行われたものであり、みなさんの活動の意義を表しているということではありません。都市センターのまちづくり活動助成は、地域の魅力アップ、まちづくりという視点で助成をしていますが、それ以外にも、市民活動団体、NPO 団体の様々な活動を支援する助成金があります。伏見にあるなごやボランティア・NPO センターでは、様々な助成金情報がありますので、そういったものを活用し、自分たちの活動により合った助成に応募されるのも重要だと思います。

今回、18 団体のみなさんから提案を聞かせてもらい、非常に多面的に、地域を豊かにするために様々な活動をされていることが確認できたことを嬉しく思っています。予算の関係上採択件数が限られるなかで、提案された活動の採点が僅差になってくると、きちんと確認したいという思いから、率直な、中には厳しい質問もさせていただきます。この点、ご理解していただければ幸いです。こうした質問内容から、本助成が皆さんの提案のどこを重視しているかを感じ取ってもらえれば幸いに思います。また、今回の審査会で発表された各団体の取組みや提案には、お互いに学び合えることがたくさんあったのではないかと思います。こうした機会を作ってくださったみなさまの応募に、委員会として心から感謝しております。

それでは、今回採択された団体の皆様には、ますます努力されて多くの活動成果をあげられることを期待しています。

## **16:30 閉会**

会場でのアンケート結果では、ほとんどの方が「公開を続けて欲しい」と回答されました。選考会についての意見・感想では、

○他の団体の方の発表を聞いて、名古屋が活気ある街になるよう取り組んでいる方々がたくさんいて、色々な切り口で地域を見直していくことの重要性が再認識できました。

○みなさん色々な活動をしている事がわかりとても感動しました。

○今回、団体数が多かったのもあると思いますが、1 次投票、2 次投票と少し時間がかかりすぎだと思えます。

などの意見が出されました。

来年度以降も、皆さんの意見をお聞ききして改良しながら、より良い選考会にしていきたいと考えています。